

## はじめに

本書では、農学分野での国際協力の仕事に感心のある皆さんを対象に、この分野にてご活躍されているエキスパートの方々からのキャリアパスに関するアドバイスの数々を集めました。掲載されている記事は、名古屋大学農学国際教育研究センターが発行しているオープンアクセスジャーナル「農学国際協力」誌にて、自由に読むことができるのですが、これらの先駆者からの貴重なご助言をまとめ、国際協力に興味があるより多くの皆さんへ広くお伝えすることが夢でした。

最初の4つの記事には、国際協力の分野で身を立てるには「どのような経歴を積むべきか？」や、「どのような人物像が求められているのか？」、「どのような職種があるのか？」、また「博士号の学位は役立つか？」などといった先人からの具体的なアドバイスが満載です。続く3つの記事では、今、まさにその現場に立ち、これからますますキャリアを形成していく最中にある方々の奮闘する姿に迫ることができます。これらの記事に加え、当センターの教員やOG、OB、院生さんらによる「農学分野の国際協力キャリアパスについて考える」と題した座談会の記事も交え、今回、書籍というかたちで出版するに至り、皆さんの目に触れる機会が大きく広がったことをとても嬉しく思っています。

最近、これらの記事を読まれた知り合いから、「もっと若いときに読むことができたら、私も国際協力の分野に挑み、今とは違った人生を送っていたかも？」といった声を頂いています。さあ、まずは目次を眺め、「これは！」と思った記事を、皆さんも是非ご一読下さい！